

**令和3年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
文化芸術活動の 推進	文化芸術団体との連携・支援	1	佐野市文化協会支援事業
		2	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業
		3	佐野の越名舟唄全国大会支援事業
		4	牧歌舞伎地元公演支援事業
		5	文化協会新型コロナウイルス感染症対策支援事業

事務事業名		佐野市文化協会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり						担当係	文化推進係	担当課長名	上岡幸宏		
	施策	1 文化芸術活動の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 文化芸術団体との連携・支援						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	2096	一般	2	1	17	佐野市文化協会支援事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則							
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	一部委託						
						事業分類	支援事業						
						リーディングプロジェクト	該当なし						
						市長市政公約							

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)							
佐野市文化協会に補助金を運営費補助として交付している。 ※佐野市文化協会とは、文化及び芸術活動を通じて、文化団体相互の連携を図り、広く市民参加を求めて、市民文化の向上を期することを目的とした団体である。			(市の活動) ・文化協会に補助金を支出するための手続を行う。 ・市民文化祭の共催(前期・後期) (佐野市文化協会の活動) 総会、市民文化祭(前期・後期)、各部門の活動推進、佐野桜の配布、市長への文化提言、機関紙「さの文化」の発行、佐野市文化協会表彰式、両毛5市、県南文化協会関係事業等							
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
			文化協会の会員数(正会員、賛助会員)	人	1,718	1,699	1,607	1,455	1,392	
			文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数	人	10,311	9,675	10,842	785	2,963	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野市文化協会			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
			文化協会の正会員数	人	1,570	1,559	1,463	1,455	1,280	
			文化協会加入団体数	団体	94	97	94	91	84	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
文化協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
			文化協会の正会員数	人	1,570	1,559	1,560	1,455	1,280	
			文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数	人	10,311	9,675	10,842	785	2,963	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
			文化芸術活動団体登録数	団体	109	110	107	103	96	
			文化祭等入場者数	人	10,311	9,675	10,842	785	3,830	

0

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,626	2,626	2,626	2,526	2,474			
	事業費計(A)	千円	2,626	2,626	2,626	2,526	2,474			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	2,626	補助金	2,626	補助金	2,626	補助金	2,526
	正職員従事人数	人	2	1	1	1	3			
のべ業務時間	時間	1,700	1,172	1,750	1,100	1,860				
人件費計(B)	千円	6,487	4,478	6,676	4,001	6,763				
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,113	7,104	9,302	6,527	9,237				

事務事業名	佐野市文化協会支援事業	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	担当係	文化推進係
-------	-------------	-----	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年の旧佐野市を始め、同時期に田沼町、葛生町でも、市民の芸術文化の向上を図るため、それぞれ文化協会を設立し、個々の文化団体の育成、支援をしてきた。平成17年4月に合併し、新佐野市文化協会が設立した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	それぞれ旧市町にあった文化協会の設立時に比べて、多種多様な文化団体が加入している。合併により、新文化協会に生まれ変わり大きな組織となったので、会員の高齢化、協会事務の増大化となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年に市監査委員から、外郭団体の事務に市職員が従事することは問題があると指摘され、平成23年4月から、専任の事務局長を配置し、改善を図った。また、同様の指摘は平成29年度の業務量調査においても外部コンサルタントから指摘されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	佐野ケーブルテレビの協力により、新規に文化芸術活動の放映企画を行い、活動の継続、発表の場の提供を行い、広く市民に活動を周知する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	文化協会を支援することにより、本市の文化振興が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市には文化芸術の振興の責務があり、支援が欠かせない。またこうした業務を行う民間団体やNPOが本市には存在しない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	文化協会を支援することにより、本市の芸術文化の振興が図られる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	文化協会の充実を図ることにより、市民の文化、芸術に対する意識が高まる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	文化協会を運営する上で必要なものであり削減を見込めないが、行政への依存度を軽減できるよう、文化協会事務局員の育成に努めている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	協会自ら、加入団体から会費を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	文化協会が自立して協会運営が行えるようになれば廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 協会の活動内容を見直しながら、協会の存在をより多くの市民に認識してもらい、会員数の増加を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	会員の高齢化により、新規加入する団体の数より、脱退する団体の数が多くなりつつある。若い世代の取込みが急務である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり						担当係	文化推進係	担当課長名	上岡幸宏		
	施策	1 文化芸術活動の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 文化芸術団体との連携・支援						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	2002	一般	2	1	17	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成2年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則	実施方法	一部委託					
							事業分類	支援事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長市政公約						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)					
市内の郷土芸能保存・継承活動を行う12団体が、佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を結成して活動している。伝統文化の育成を図るため、これらの団体の後継者育成及び活動を支援する。 具体的には、同協議会に団体の人材育成と運営費補助としての補助金を交付している。	(1) 総会等の会議 (2) 郷土芸能フェスティバル(コロナ対応で中止)					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
協議会加入団体会員数	人	250	227	220	220	202
加入団体数	団体	15	13	12	12	12
平成23年度から旧市町の団体が統合され、協議会へ一本化した。						

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野市郷土芸能保存会連絡協議会	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会会員数	人	250	227	220	220	202

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 協議会の円滑な運営と財政の健全化を図ることにより、継続して郷土芸能の保存・伝承活動が続けられる。 ② 後継者育成にもつながる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	事業等の来場者数	人	12,762	10,420	-	-	-
	子どもの参加人数	人	52	34	-	-	-

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	文化活動団体の登録数	団体	109	110	107	103	96
	伝統文化の発表の場への参加団体数	団体	9	7	4	-	-

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	600	600	396	500	480			
	事業費計(A)	千円	600	600	396	500	480			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			補助金	600	補助金	600	補助金	396	補助金	500
	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	757	378	663	365	360				
人件費計(B)	千円	2,889	1,444	2,529	1,328	1,309				
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,489	2,044	2,925	1,828	1,789				

事務事業名	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	担当係	文化推進係
-------	---------------------	-----	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成2年11月に、郷土芸能の保存・継承を図ることを目的に旧佐野市で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	各団体の設立の目的や設立時に比べて、環境が大きく変わってきている。また、高齢化が進み、後継者育成が必要となっている。協議会では、合併後から旧田沼・旧葛生地区の団体に呼びかけ、2団体に協力を得ていたが、平成22年度に話がまとまり、23年度に一本化が図られた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	郷土芸能保存・継承のため協議会へ更なる支援をいただきたい。また後継者育成にも支援願いたいとの要望あり。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を支援することにより、本市の郷土芸能の保存・継承が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を支援することにより、市の郷土芸能の保存・継承が図られるとともに郷土芸能の伝承が図られる。地域の伝統文化・芸能の保存継承は行政の責務でもあるため、市で行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会の支援を更に図ることや、発表の場を増やすことにより、市民の郷土芸能に対する意識が高まる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	郷土芸能フェスティバルの実施等協議会の運営上、事業費削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	協議会の運営は、加入団体から会費も原資としている。そのため、各団体とも会員から会費を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 協議会が自立して運営及び後継者育成事業等を行うことができれば、廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野の越名舟唄全国大会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり						担当係	文化推進係	担当課長名	上岡幸宏		
	施策	1 文化芸術活動の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 文化芸術団体との連携・支援						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	2098	一般	2	1	17	佐野の越名舟唄全国大会支援事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成10年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則	実施方法	一部委託					
							事業分類	支援事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長市政公約						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)						
主催者は市と佐野の越名舟唄全国大会運営委員会である。運営委員会は、大会を開催するため、会議で運営方法を決定する。市は、運営委員会に交付金の支出手続を行うほか、運営委員会の開催及び大会の運営を行う。						6月 書面により大会運営委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止を決定						
※佐野の越名舟唄全国大会運営委員会は、佐野の越名舟唄全国大会を円滑に運営するために、関係する団体の役員、市関係者等で構成された組織。当該が事務局を担っている。												
活動指標						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
案内状発送数						通	2,000	1,558	1,600	-	-	
広報、宣伝回数						回	6	6	6	-	-	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
① 佐野市民及び全国の参加者 (交付対象団体) 佐野の越名舟唄全国大会運営委員会						対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
佐野市民						人	120,018	119,348	118,450	117,706	116,982	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
① 佐野の越名舟唄全国大会に参加していたことで、越名舟唄を全国的に地名度を上げる。						成果指標						
② 佐野市民に越名舟唄を浸透させる。						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
③ 出場者数の県外参加者との割合						出場者数	人	171	163	113	-	-
						出場者中の県外参加者の割合	%	33.6	33.3	32.7	-	-
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る						上位成果指標						
						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	
						文化活動団体の登録数	団体	109	110	107	103	96

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	520		520		420		0		0	
	事業費計(A)	千円	520		520		420		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	520	交付金	520	交付金	420	交付金	0	交付金	0
	正規職員従事人数	人	2		1		1		1		3	
のべ業務時間	時間	1,000		643		1,105		620		155		
人件費計(B)	千円	3,816		2,457		4,216		2,255		564		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,336		2,977		4,636		2,255		564		

事務事業名	佐野の越名舟唄全国大会支援事業	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	担当係	文化推進係
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成10年佐野の越名舟唄全国大会を開催し、この大会を新たな観光資源として活用を図るため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	出場者が高齢化し、減少が続いている。若年層の獲得のために、発表の部を設けた。平成18年度、商工観光課から文化振興課に事務移管になった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	出場者中の県外参加者の割合が増加傾向にあり、アンケートに2日間の参加は大変だとの意見が多数あった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	市外からの参加者も多数あったが、近年、出場者の高齢化や固定化が進み、全体の参加者も減少が続いている。民謡愛好家の間では十分浸透を図ることができたことから、対象を市内小中学生を中心とした若い世代に転換し、越名舟唄の保存と伝承に繋がる事業にやり方を改善する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	平成17年度事務事業評価会議を経て、商工観光課から文化振興課に事業移管になったもので、当初の観光振興の目的を含めて、市の無形民俗文化財に指定されている越名舟唄を文化振興の観点で行うことにより、目的に結びつくと思われる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野の越名舟唄全国大会運営委員会を組織しているが、主催者は市であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	小中学生、保護者の方を対象に学校において、講師として民謡歌手、尺八奏者等地元民謡団体の方々を派遣し民謡の体験講座を行うなど、事業のやり方を根本から見直すことで成果の向上につながると思われる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	開催期間の短縮、協賛金による収入、審査委員謝金の見直し、民謡教室・呈茶の廃止等の考える削減策は行ったため、事業費削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者負担の見直しにより、参加料を増額した。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	事業の目的や対象を見直し、民謡団体や学校、市民の協力により、新たな手法により事業を引き継ぐことで、当事業の終了又は廃止とする。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
<p>廃止</p> <p>* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)</p> <p>対象を小中学生とし、学校と連携し事業を進めることで、幅広い世代に越名舟唄を認知させられる。また、越名舟唄や越名河岸は地元佐野市で生まれた貴重な歴史的・文化的資源であることから、越名舟唄の成り立ちや越名河岸の歴史等を含めた体験教室のプログラムとして行い、郷土の歴史に触れることで郷土愛の醸成を図る。</p>	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	<p>関連団体の協力が必要であることから、事業目的や事業の成果を分かり易く、丁寧に説明し、理解を得ることで実現したい。</p>
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		牧歌舞伎地元公演支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり						担当係	文化推進係	担当課長名	上岡幸宏
	施策	1 文化芸術活動の推進						新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 文化芸術団体との連携・支援						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2099	一般	2	1	17	牧歌舞伎地元公演支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H2年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則		実施方法		一部委託	
	事業区分		事業分類		支援事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	事業区分		市長市政公約								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)					
牧歌舞伎保存会に補助金を交付し、牧歌舞伎保存会が隔年で行う地元公演を支援している。  ※牧歌舞伎保存会とは、栃木県指定民俗文化財「牧歌舞伎」の保存、保護に寄与することを目的としている団体である。	隔年開催事業。 令和元年度は台風第19号での被災により中止となった。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為に中止。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
実行委員会の人数	人	24		24		22

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
(交付対象団体) 牧歌舞伎保存会	佐野市民	人	120,018	119,348	118,450	117,706	116,982

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

栃木県指定無形民俗文化財「牧歌舞伎」の伝承について理解を深める。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	地元公演の来場者数	人	600		600		-

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	文化活動団体の登録数	団体	109	110	107	103	96

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		400				270				0
	事業費計(A)	千円		400		0		270		0		0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	400			補助金	270			補助金	0
	正規職員従事人数	人		2				1				1
のべ業務時間	時間		22				20				10	
人件費計(B)	千円		84		0		76		0		36	
トータルコスト(A)+(B)	千円		484		0		346		0		36	



事務事業名	牧歌舞伎地元公演支援事業	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	担当係	文化推進係
-------	--------------	-----	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	牧歌舞伎は、牧地区のもので、保存会が伝承している。地元公演のときは、地元の人々が協力して公演を実施している。平成3年度から牧歌舞伎の支援と地域の活性化のために開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	保存会が発足して、30年が経過し、会員も年齢が高くなり、後継者育成が必要になっている。また地元関係者の高齢化が進んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	地元公演に更なる支援をいただきたい。また後継者育成にも支援願いたい。新演目の場合は、衣装等の作成支援はないか検討していただきたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	牧歌舞伎を支援することにより、牧歌舞伎の保存・継承及び後継者育成が図られる。地域の活性化が図られ地域住民の伝統文化に対する意識が高まり、ひいては市民の郷土芸能に対する意識も高まる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	市民との協働から考えると、補助事業であり、民間やNPOに委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	牧歌舞伎の保存・継承につながり、保存会活動の継続的な活動を支援することになるため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	地元公演の来場者を増加させるため、広報活動や支援を積極的に行っていく。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	牧歌舞伎の伝承、保存を図るためには削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	伝統・保存のための公演なので、受益者負担は考えられない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 牧歌舞伎保存会が、公演、運営と独自に事業ができるようになれば廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		文化協会新型コロナウイルス感染症対策支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり					担当係	文化推進係		担当課長名	上岡幸宏
	施策	1 文化芸術活動の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 文化芸術団体との連携・支援					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2130	一般	2	1	17	文化協会新型コロナウイルス感染症対策支					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	R3年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市文化協会新型コロナウイ ルス感染症対策事業費補助金交 付要領		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		支援事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	事業区分		市長市政公約								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)						
文化協会会員や事業参加者の新型コロナウイルス感染を予防し、事業活動が安全に行えるよう支援する。  ※佐野市文化協会とは、文化及び芸術活動を通じて、文化団体相互の連携を図り、広く市民参加を求めて、市民文化の向上を期することを目的とした団体である。					文化協会の活動時やイベント時における、感染予防に係る対策に係る経費について補助金を交付した。 (市の活動) ・文化協会に補助金を支出するための手続を行う。 ・市民文化祭の共催(前期・後期) (佐野市文化協会の活動) 総会、市民文化祭(前期・後期)、各部門の活動推進、佐野桜の配布、市長への文化提言、機関紙「さの文化」の発行、佐野市文化協会表彰式、両毛5市、県南文化協会関係事業等						
					活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
					交付件数	件					1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
佐野市文化協会					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
					文化協会の正会員数	人					1,280
					文化協会加入団体数	団体					84
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
新型コロナウイルスの感染予防支援を行うことにより、文化協会の活動再開及び継続を図る。					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
					文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数	人					2,963
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
文化芸術・伝統芸能の核となる団体の充実を図る					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
					文化芸術活動団体登録数	団体					96

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)			
	国庫支出金	千円					1,000			
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	1,000			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
									補助金	1,000
	人件費	人							3	
のべ業務時間	時間							10		
人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	36		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	1,036		

事務事業名	文化協会新型コロナウイルス感染症対策支援事業	担当部	産業文化ポーツ部	担当課	文化推進課	担当係	文化推進係
-------	------------------------	-----	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	新型コロナウイルスの感染症の蔓延により、活動の休止や停滞が生じことや、活動に携わる市民の安全の確保が生じたため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	活動を行う上で必要な感染対策を施すことができ、活動の停滞を防ぐことができ会員の士気の向上につながっているなどの声がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	コロナ禍において、感染防止対策をとりながら、活動を再開できるように支援することは、市民の文化芸術の活発な活動を促進することとなり、政策体系に沿うものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	広く市民の文化芸術活動を支援することは、市の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	広く市民参加を求めて、市民文化の向上を期することを目的とした団体である文化協会に補助金を交付し、文化協会の事業に合った対策を講じることが最適であるため、成果向上余地はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある		理由・改善案	文化協会の意見要望を再確認し、さらなる感染対策を追加することで、安全に活動を進められる効果がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある		理由・改善案	新型コロナウイルス感染対策のための整備状況と感染状況を精査することで、削減の余地はある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	新型コロナウイルス感染対策のための事業であるため、受益者負担は適当でない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 新型コロナウイルスの対策が充実したときに、完了する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 感染状況や市の感染対策の方針と協会が実施している新型コロナウイルスの感染対策の方法を整理し、今後必要となる感染対策を取捨選択し、コストの削減に繋げる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	特に無
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					